



高倉だより 評価特集号



評価特集号

令和8年3月19日

京都市立高倉小学校

～令和7年度 後半学校評価結果を
お知らせします～



学校教育目標

よりよい生き方を求めて、誇りをもち、未来にはばたく高倉の子
～豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

今年度後半も、アンケートへのご協力ありがとうございました。後半の学校評価についてご報告させていただきます。

評価項目と集計結果（R7 前半との比較）

▶5分野 24項目

▶4段階評価（そう思う・だいたいそう思う…**プラス評価**
あまりそう思わない・そう思わない…**マイナス評価**）

3%以上上昇 3%以上下降

<確かさを育む教育>	R7前半			R7後半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① 学校の勉強がよくわかる	97.1%	93.3%	89.7%	97.0%	93.5%	100.0%
② 自分の思いや考えをすすんで伝え合う	91.9%	94.5%	100.0%	91.9%	93.7%	93.1%
③ 読書は好きですか(家庭での)	84.4%	61.4%	76.9%	83.2%	62.4%	69.0%
④ 家庭で読書をどのくらいしていますか ※別掲						
⑤ 家庭学習	93.2%	93.8%	96.3%	94.5%	91.8%	92.9%
⑥ 最後までやりぬく	93.2%	92.1%	100.0%	96.8%	91.0%	96.4%
⑦ 見通しをもって学習 (学習予定表の活用)	91.4%	86.1%	85.2%	91.7%	85.3%	92.9%
⑧ 授業中の約束守って、集中して	94.8%	96.4%	92.9%	96.2%	96.7%	86.7%

「確かさを育む教育」の項目⑦「見通しをもって学習」は、教職員の評価がR7前半から上昇しています。行き当たりばったりではなく「ゴールから逆算する」という考え方が必要です。そのために学習予定表があります。R7前半よりそれぞれが学習予定表をもとに、事前に準備ができていますと教職員は感じています。

一方で、項目⑤・⑥・⑧では、教職員の評価が下降しています。特に「授業中の約束」が下降しています。学校での生活は、授業が大半を占めます。その授業において規律が守られていないのは大きな問題と言えます。早急に我々教職員の指導を見直す必要があると考えています。

<豊かさ・たくましさを育む教育>	R7前半			R7後半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① 学校生活が楽しい・安心	94.5%	95.7%	93.5%	96.0%	95.1%	93.3%
② 思いやりのある温かい言葉づかい	95.0%	90.2%	93.8%	95.5%	90.5%	83.9%
③ 友達と大切にしよう	97.7%	96.2%	93.8%	97.7%	95.9%	96.8%
④ 学校の決まりを守って行動	97.4%	97.4%	78.8%	96.6%	95.4%	80.6%
⑤ 放課後・休みの日ルールを守る	97.4%	97.4%	84.4%	97.7%	97.5%	78.1%
⑥ 学校・家でのあいさつ	93.7%	84.7%	62.9%	95.3%	87.2%	53.1%
⑦ 地域でのあいさつ	93.8%	81.3%	78.8%	95.1%	82.3%	65.6%

「豊かさ・たくましさを育む教育」においても、ほぼ全ての項目で教職員の評価が下降しています。項目⑤「放課後・休みの日ルールを守る」の結果としては、地域の方から子どもたちの放課後の過ごし方についてお叱りのお声をいただくことができました。学校や社会に出るために様々なことを学ぶ場です。そこが十分に指導しきれていなかったと反省をしています。

また、「あいさつ」についても同様です。「あいさつ」は人間関係の基本だと考えています。今一度、「あいさつ」について指導を進めていきたいと思えます。

<健やかな心と体を育む教育>	R7前半			R7後半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① すすんで外遊び	69.6%	76.3%	93.9%	74.3%	75.7%	84.4%
② 食事マナー	97.4%	84.2%	90.6%	98.7%	85.3%	96.8%
③ 食事の好き嫌いなく楽しく	92.4%	74.8%	87.5%	91.7%	74.7%	93.3%
④ 朝ご飯	92.4%	96.6%		95.1%	95.4%	
⑤ 安全な登下校	98.0%	97.8%	90.9%	98.1%	97.3%	80.6%
⑥ 自分の心や体を大切に	95.8%	94.0%	100.0%	97.2%	94.3%	93.3%

「健やかな心と体を育む教育」において項目②「食事マナー」と③「食事の好き嫌いなく楽しく」の項目が、教職員において上昇しています。昨年度よりグループやランチルームで給食を食べることができるようになりました。友達と食べることで、苦手な食材にもチャレンジしようとする子も出てきました。成長期の子どもたちです。これからも好き嫌いなく、みんな楽しく給食を味わってほしいと思えます。

<高倉小の特色ある教育>	R7前半			R7後半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① 地域学習・伝統文化の学習に興味をもって	97.1%	94.5%	96.7%	97.4%	95.1%	100.0%

<学校・家庭の連携>	R7前半			R7後半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① 先生に話をしたり相談したり	85.9%		100.0%	85.1%		96.8%
② おうちの人に話をしたり相談したり	87.5%	91.4%		89.6%	93.2%	

※④家庭で読書をどのくらいしていますか

	R7前半				R7後半			
	ほぼ毎日	週に2~4回程度	週に1回程度	ほとんどしない	ほぼ毎日	週に2~4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	29.1%	24.4%	22.4%	24.1%	26.2%	25.3%	24.5%	24.0%
保護者	27.1%	32.9%	25.9%	14.1%	27.5%	31.1%	28.1%	13.4%

裏面で、「自分の思いや考えをすすんで伝え合う」「思いやりのある言葉づかい」「安全な登下校」に関して詳しくご報告させていただきます。

全体として

ほとんどの項目で教職員の評価が前半より下降しています。これは我々教職員の指導を今一度見直すべきであることを示しています。子どもたちの日々の頑張りは素晴らしいものです。我々教職員はその頑張りに報いるべく、しっかりと教育活動に取り組んでいかなければと考えています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

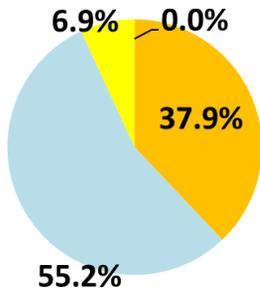
アンケート結果より

結果

■ そう思う ■ だいたいそう思う
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

確かさを育む教育について

Q. 自分の思いや考えを
すすんで伝え合っていますか。



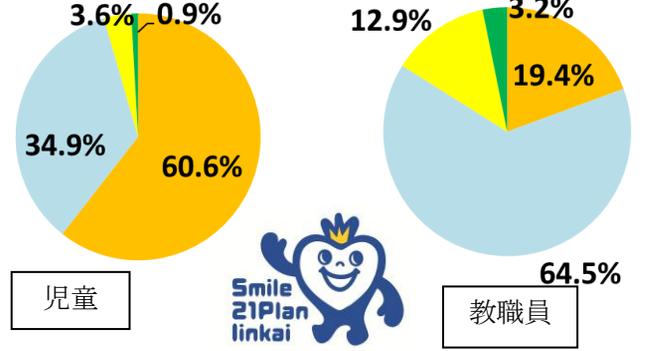
教職員



「自分の思いや考えをすすんで伝え合う」の教職員の評価が前半から比べて、下降しています。コミュニケーション力は本校の「つきたい資質・能力」です。昨今はGIGA端末を使用することも多く、話し合い活動が減ってきていることもあります。なので、教職員も普段の授業で意識して取り組む必要があります。自分の思いや考えを伝えることで、学習が深まっていきます。子どもたち自身が積極的に話し合いができるよう、授業の組み立てを改善したり、発表する場を設定したりしていきたいと考えています。

豊かさ・たくましさを育む教育

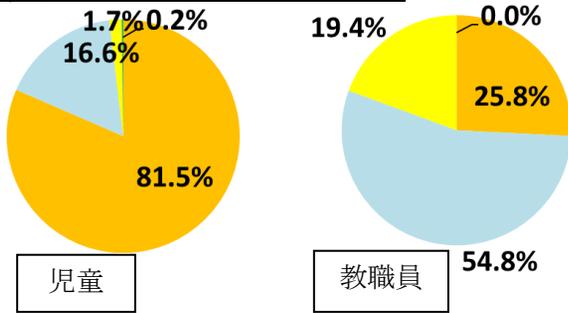
Q. 思いやりのある、温かい言葉づかいをしていますか。



「思いやりのある温かい言葉づかい」の結果ですが、教職員の評価が前半より下降しています。一方で、児童は前半とほぼ変わっていません。子どもたちの中では大丈夫と思っている言葉も、大人からすると人を傷つける言葉であるということが往々にしてあります。その判断基準を教えるのも教職員をはじめ、周りの大人の役割と考えています。言葉は発してしまうと消せません。子どもたちに言葉の重みを伝えていきたいと思ひます。

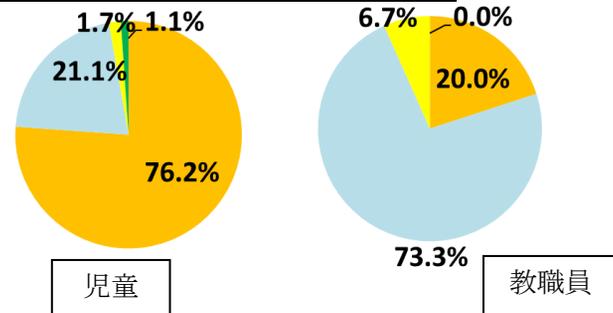
健やかな心と体を育む教育

Q. 安全に登下校できていますか



普段の登下校のようすはもちろん、地域の方から「走っている」「飛び出してきた危ない」といったお声が学校に寄せられたこともあり、教職員では評価が下降しています。しかし児童はほぼできていると認識しています。この認識の違いこそが危険であると我々は考えています。地域の見守り隊の方々が見守ってくださっているのが今現在は大事に至っていないですが、子どもたちだけで安全に登下校できるようにしっかりと指導していきたいと思ひます。

Q. 自分の心や体を大切にしていますか



R7 前半より教職員の評価が下降しています。この項目は何よりも大切にしなければならぬと考える項目です。どのような教育活動を行おうとも、まずは自分の心や体のことを大切にする。それができてからの教育活動だと考えています。それぞれの自己有用感が高まる取組をこれからも行い、全員が自分のことを大切に思えるように、ひとりひとりを大切に教育活動を進めていきたいと思ひます。

自由記述欄より（抜粋）

- 今年も学校内での学びに加え、学外での活動や地域の方々から学ぶ機会に恵まれ、よい1年でした。保護者が参観できるものもあり、スマイル体力向上プログラムは、毎学期子どもたちと一緒に活動できるのを楽しんでいます。→高倉小学校は地域の方々をはじめ、たくさんの方々にお世話になっています。上記の体力向上プログラムをはじめ、さまざまな活動ができるのも皆様のおかげです。体力については高倉小学校の課題の一つです。少しでも体を動かす楽しさを感じてもらえるよう、今後も取組を進めていけたらと思ひます。
- 紙漉きや生け花など、地域との関わり合いの中、日本の文化に触れ合えて良い経験をさせてもらいました。→上記にもありますが、地域の方々に素晴らしい経験をさせていただいています。これこそが高倉小学校の特色と言えます。これからも子どもたちには日本の伝統文化に触れ、豊かな心を育んでほしいと思ひます。
- 下校時は学童や習い事から一人で帰ってくるので、薄暗い中、白線内を歩いている外国人観光客の自転車やLoopが逆走したり、タクシーのクラクションが怖いと話したりしています。西洞院通、新町通、蛸薬師通は、ふざけてLoopを蛇行運転する若い外国人観光客が増えたこと、スピード出し過ぎ、クラクション鳴らし放題のタクシーが多く、とても危ないので、警察と連携して取り締まりを強化してほしいと願っています。→すべての外国の方がそうではありません。しかし一方で上記のような状況であるのも事実だと思ひます。警察の方に現状をお知らせして見守りを強化していただくようにしたいと思ひます。
- ここ数年、宿題の自主学習の内容がやや限定されているように感じています。基礎的な学習も大切だと思う一方で、既習範囲や教科に関わらず子ども自身が興味をもったことを自由に調べ深めていくことが自主学習の醍醐味かと思ひます。より自由なテーマにすることによって、学ぶ意欲や主体性をもっと育つのではないのでしょうか？→貴重なご意見をありがとうございます。自主学習の内容、テーマについては、議論を深めていかなければならぬことだと認識しています。もちろん基礎的な学習も大切だと思ひますので、学校としても検討をしていきたいと思ひます。